



きなぎっせ

九州中央病院広報誌「第68号」2016年1月

□地域医療支援病院 □臨床研修指定病院 □日本医療機能評価機構認定病院

〒815-8588 福岡市南区塩原三丁目23番1号 TEL 092-541-4936(代) FAX 092-541-4540



長樂無極(長樂極り無し)…「幾久しきたのしみがいつまでもつきぬ」

書道部顧問 佐藤華舟

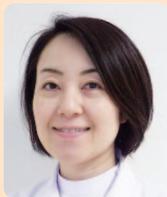
基本理念 病んでいる人の人権を尊重し、健やかで心豊かな社会をつくるための医療を提供します。

基本方針	Progressiveness	常に向上心を持ち何事にも積極的に、前向きに対処する
	Hospitality	医療される方々の立場に立った、満足の得られる医療を行う
	Superiority	質の高い、高度な医療を目指す
	Rationality	合理的で、無駄のない医療、および医療経営を行う

目次

Medical Information	2	庶務課からのお知らせ	8
栄養管理科からのお知らせ	4	保健師だより・季節のレシピ	9
看護部からのお知らせ	5	部活紹介(野球部・テニス部)	10
登録医紹介	6	南警察署からのお知らせ	11
連携病院紹介	7	外来診療担当医表・編集後記	12

Medical Information.



当院における「口から食べる」リハビリと栄養の取り組みについて —〔摂食えん下・NST 外来〕を開設して—

リハビリテーション科 金城亜紀（医長・歯科医師）、竹迫仁則（部長・医師）

身体機能と同じように摂食嚥下機能も年とともに低下し、栄養状態を維持することも難しくなります。認知症とも深い関わりがあります。摂食嚥下障害や栄養障害は、入院を要する急性疾患や手術等を機にさらに悪化しやすく、その結果、自宅退院が難しくなったり、転院や施設入所を余儀なくされることもあります。患者さんやご家族にとっては、予想されていない状況かもしれません。このような現状から、当院では2014年1月より、安全に口から食べる機能の維持や再獲得、誤嚥性肺炎の予防、患者さんのQOL（生活の質）向上を目指して、医師、歯科医師、管理栄養士、言語聴覚士、看護師から成る摂食嚥下チームによる取り組みを病棟から開始しました。また、2015年5月より、地域の「食」の相談窓口として《摂食えん下・NST※外来》を開設しました。

■ 摂食えん下・NST外来 (予約制：火・木 午前中)

ご自宅退院後に継続的に通院していただいたり、摂食嚥下障害が疑われる方(図1)をご紹介します。

- これまでも誤嚥、窒息を起こしたことがある。
- 発熱、肺炎を繰り返す。
- 食事中、食後によくむせたり、咳がでる。
- 薬が飲み込みづらい。
- 飲み込んだあとも喉に違和感がある。
- 食事に時間がかかるようになり、疲れる。食事が苦痛。
- 急に食事が減り、体重が減った。
- ひどく痩せている。
- 痰が増えた。
- 食後に痰がらみの声になる。



図1 摂食嚥下障害を疑う主な症状

機能評価や栄養指導を行っています(図2)。必要に応じて嚥下造影検査や嚥下内視鏡検査も可能です。

近年、ご高齢の患者さんが誤嚥性肺炎や骨折などで、繰り返し入退院されるケースが増える傾向にあります。急性期病院から転院あるいは介護施設へ退院されると、その後の経過は分からなくなってしまう



図2 《摂食えん下・NST外来》受診の流れ

います。特に、再入院までの食事に関する状況やリハビリの経緯が不明な事例をしばしば経験します。たとえば、食種や形態のバリエーションは施設により様々で、呼称も統一されていません。この状況では、摂食嚥下の状態や栄養に関する情報を医療機関一施設一在宅間で共有していくことは、きわめて難しいと考えられます。当外来は、「食」を通じた多職種による地域連携の橋渡し役となり、医療と介護が切れ目なく提供される一助となることを目指しています。開設以来、かかりつけ医や施設からのご紹介で、様々な基礎疾患を背景とした摂食嚥下障害の方が受診されています(表1)。

表1 《摂食えん下・NST外来》を受診された方の主な基礎疾患

脳血管障害(脳梗塞、脳出血など)
肺炎の既往(誤嚥性肺炎も含む)
認知症
腎疾患
消化器癌術後
パーキンソン病
低栄養・るいそう
心疾患
胃瘻造設後
精神疾患
気管カニューレ抜去困難
窒息の既往

A氏(60歳、男性)は、脳出血、脳梗塞後遺症で誤嚥性肺炎を繰り返したため、他院にて胃瘻造設され、介護施設に入所されていました。ADL(日常生活動作)は全介助、高次脳機能障害残存、寝たきりでしたが、ご家族が経口摂取を強く望まれ、担当ケアマネジャー、往診歯科医師に相談し、当外来を受診されました。初診時、コミュニケーションはわずかな眼球運動とうなずき、ごく簡単なジェスチャーのみで、発声、発語はありませんでした。嚥下造影検査などを行い、リクライニングポジション、トロミ付き水分などの条件付きで少量の経口摂取を開始したところ、意欲もみられるようになり、誤嚥性肺炎の再燃もなく、外来通院を続けられています。

B氏(88歳、男性)は、脳梗塞の加療後、転院先でリハビリを行い、6ヶ月後に自宅退院されていました。構音・嚥下障害、右片麻痺が残存し、通所リハビリを行いながら在宅療養されていましたが、徐々に体重が減少し、低栄養、摂食嚥下機能低下、ADL低下を認めたため、当院再入院となりました。嚥下造影検査などを行い、ゼリー食レベルと判断し、運動リハビリ、摂食嚥下訓練を行い、改善したため、ご家族やケアマネジャーを含めて食事・栄養指導の上、退院されました。外来にて再評価、栄養指導を継続し、ケアマネジャーとも密に連携できたため、ご自宅の生活環境も訪問して確認し、指導内容に反映させました。また、ご本人の希望を取り入れながら、市販の嚥下調整食、宅配食の利用や調整を繰り返し、通所施設の協力も得て、デイケアでの食形態も同様に調整しました。退院から9ヶ月後の嚥下造影検査にて、摂食嚥下機能の改善を認め、その後もキザミ食レベルで、栄養状態、ADLを維持されています。

適切な時機に介入し、継続できれば、胃瘻になっても楽しみとしての経口摂取をトライしたり、変化する病態に応じた経口摂取や栄養の指導が可能になります。本来、「食」は生活の基本行為であるため、どこで、誰が専門的にサポートするのか曖昧です。入院患者さんの摂食嚥下障害や栄養障害に対応されている医療機関は増えてきましたが、地域に開かれた外来として対応する医療機関は多くありません。取

り組みが広がらない背景には、保険診療でこの分野の算定がひじょうに厳しい状況もあります。しかし、いったん胃瘻になった方が、誤嚥性肺炎を危惧されるあまり、口から食べる機会がないまま過ごされていたり、誤った認識で食事を続けたために、誤嚥性肺炎や窒息を起こされている現状を、少しでも改善していくために私たちは地域の支援病院として、外来でも患者さんを受け入れ、地域住民の方々をサポートしていきたいと考えています。

■ 周辺地域を対象とした多職種連携の会 《SMILEネットワーク》の活動内容

重度の要介護状態になっても、その方らしく、できる限り住み慣れた地域で、在宅を基本とした生活を支援することを目標として、地域包括ケアシステムの構築が各自治体で進められています。しかし、高齢化の進展状況などに地域差もあり、順調に進んでいるとは言い難いのが現状です。特に、医療と介護の「切れ目のない連携」は、いまだ多くの課題を抱えています。このような社会状況を鑑み、私たちは前述の病棟や外来の取り組みなどの活動の延長として、医療と介護の連携における共通のテーマのひとつを「食」と掲げ、《SMILEネットワーク》(Seamless Medical Care and Life Support for Elderly)を立ち上げました。高齢者の医療や介護、生活支援を行うための多職種による地域連携を図ることを主目的としています。

2015年3月より開始した年2回の研修会や交流会には、地域の様々な施設や職種の方に多数ご参加いただき、「顔の見える」関係構築に向けて前進していると、実感しています。また、このネットワークの活動の一環として、2015年夏以降、30件以上の介護福祉施設や療養型医療機関、訪問看護ステーションなどを訪問させていただきました。改めて、急性期医療側は介護の現場の理解が不十分であることを痛感させられました。また、施設ごとの大変なご苦労や、食環境が変わるだけで食事の摂取状況や嚥下の状態が変化することを目の当たりにし、リスク管理とQOLのバランスをとりつつ、適切に検討することが非常に重要であることに気づかされました。周辺地域の方々が安心して歳を重ね、最期まで住み慣れた所で、安心して過ごすことができるよう、地域に根ざした多職種連携の構築に寄与したいと考えています。

※ Nutrition Support Team：多職種で構成されたチームによる栄養サポート

特別メニューの提供について

栄養管理科 主査栄養士 渡邊啓子

平成27年3月の入院棟のオープンに伴い、特別メニュー（下表）の提供を開始し、日替わり昼食メニュー（土日祝祭日を除く）をご用意しています。料金は基本の食事代1食260円に100円の追加となります。

入院期間中、もっと好きなものを選んで食べたいという方や治療による食欲低下や味覚の変化でなかなか食が進まない方でも食べやすい内容の献立を準備しています。

特別メニュー（下表）における料理番号②の列はボリュームもあり、満足感の出る組み合わせのメニューとなっています。入院中でもご家庭同様に食器や食材の彩りに配慮し、温かい状態で召し上がっていただけるように調理しています。

③の列の献立は食欲がなかったり、味覚変化のある方や化学療法中の方が好まれるあっさりとした味付けの内容になっています。ボリュームは抑えながら一食あたり500kcalを確保したメニューになっています。

また、④から⑨までは温かいつゆ麺、冷たいざるそば、ざるうどん、トッピングなど6種類あり、その日の気分で選んでいただくことができます。体調に合わせて食べやすいものを少しでも召し上がっていただけるように準備しております。ご利用のほどよろしく申し上げます。



特別メニュー一覧表

(常食または主治医の許可がある方のみ対象となります。)

料理番号	月	火	水	木	金	
②	煮込みハンバーグ	鶏つくね丼	牛丼	ミートスパゲティ	チキンカレー	
③	お茶漬け	いなり寿司	ツナエッグサンド	ちらし寿司	雑炊	
昼食	④	天ぷら	天ぷら	天ぷら	天ぷら	天ぷら
	⑤	肉	肉	肉	肉	肉
	⑥	月見	月見	月見	月見	月見
	⑦	きつね	きつね	きつね	きつね	きつね
⑧	冷(ちやう)天ぷら	冷(ちやう)天ぷら	冷(ちやう)天ぷら	冷(ちやう)天ぷら	冷(ちやう)天ぷら	
⑨	冷(ちやう)温泉卵	冷(ちやう)温泉卵	冷(ちやう)温泉卵	冷(ちやう)温泉卵	冷(ちやう)温泉卵	

※①は常食

九州中央病院看護師と学ぶ

やさしい健康講座 開催報告



看護部では地域住民の皆様がより健康的な毎日を過ごしていただけるよう、「やさしい健康講座」を開始致しました。第1～3回まで、多くの地域住民の皆様に参加いただき、盛会のうちに終了することができました。アンケートでは貴重なご意見を賜り、心からお礼申し上げます。開催の様子と第3回のアンケート結果をご報告致します。

第1回 ストップ、生活習慣病!

7月11日(土) 開催 参加者：55名

近年増加している生活習慣病をテーマに実施しました。肥満と糖尿病の関係についてお話した後、参加者の方に肥満度を測定してもらい、日常生活を振り返っていただきました。

講師：慢性疾患看護専門看護師 小江奈美子

第2回 助けよう、救える命!

9月5日(土) 開催 参加者：42名

参加された方は30～90歳代と幅広い年齢層でした。強く、速く、絶え間なく！胸骨圧迫(心臓マッサージ)を行なえるよう、また安心してAEDを使えるよう、演習しました。

講師：急性・重症患者看護専門看護師 徳永美和子
救急看護認定看護師 楠久絵



九州中央病院周辺AEDマップ



AED装着練習中!

第3回 シーズン到来! 感染性腸炎・インフルエンザの予防と対策

10月24日(土) 開催 参加者：31名

体験コーナーでは『10秒・15秒のあわあわ手洗い』『マスクの正しいつけ方』『ノロウイルスの消毒方法』について、みなさんと楽しく学ぶことができました。

参加者の方から、「手洗いは石鹸を使わないといけないですね。」という声も聞かれ、手洗いの重要性を実感していただきました。

講師：感染看護認定看護師 衛藤理奈・阿部聡美



10・15秒のあわあわ手洗い!

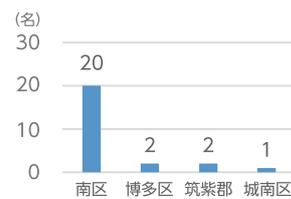


手洗い後、ライトで汚れを確認してます

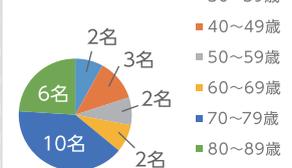
第3回アンケート結果

参加者31名(アンケート回収25名)

住まい



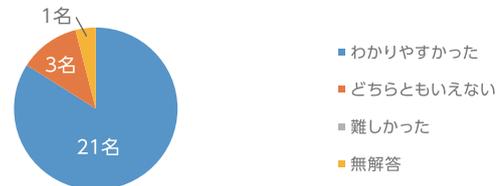
年代



参加したきっかけは何でしたか



講義の分かりやすさはどうでしたか



ご意見

- ・手洗いはとても参考になり、ためになった
- ・具体的に教えていただいてよくわかりました
- ・認知予防について知りたい
- ・若年でかかる脳卒中について知りたい
- ・次回もぜひ参加したい

～第4回のご案内～

がんと上手に向き合うために・・・

2016年1月30日(土) 10:30～11:30
九州中央病院 新病棟 1階患者ラウンジ

がんになっても、自分らしく、豊かに生活するために知っていただきたいことをお伝えします。どなたでもお気軽にご参加ください。

登録医の先生ご紹介



つちや内科循環器内科クリニック

- 登録医名** 土屋芳弘
- 住 所** 〒815-0033 福岡市南区大橋2丁目2-17
大橋駅南クリニックビル2F
- 電話番号** TEL 092-557-1121 FAX 092-557-1173
- 診療科** 内科・循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科
- 診療日** 月～水金 9:00～12:30 14:00～17:30
木土 9:00～12:30

大橋駅南口“大橋駅南クリニックビル”に平成27年6月開院しました。内科・循環器科を中心に診療します。九州中央病院の皆様には、お世話になり感謝申し上げます。地域の“かかりつけ医”として貢献したいと思っております。よろしくお願い致します。



つちもち脳神経外科・内科クリニック

- 登録医名** 土持廣仁
- 住 所** 〒811-1201 筑紫郡那珂川町片縄2丁目12
サンシャイン那珂川1階
- 電話番号** TEL 092-951-3610 FAX 092-951-3615
- 診療科** 脳神経外科・内科
- 診療日** 月火水金 9:00～12:30 14:00～18:00
木土 9:00～12:30 午後休診
日・祝は休診

頭や頸椎の病気、めまい、しびれを中心に診ています。脳の病気は一刻も早く診断し治療を開始する必要があります。当院ではMRIやCT検査は予約なしに可能です。今後も地域のかかりつけ医として地域住民の健康管理に努め、元気で楽しい生活を送っていただけるように手助けをいたします。よろしくお願い致します。



タケダスポーツクリニック

- 登録医名** 武田 寧
- 住 所** 〒814-0144 福岡市城南区梅林2-27-14
- 電話番号** TEL 092-874-7505 FAX 092-874-7506
- 診療科** 整形外科・外科・リハビリテーション科・皮膚科
- 診療日** 整形外科・外科・リハビリテーション科
月～金 13:00～20:00 土 10:00～17:00
日・祝日 休診
皮膚科
月～金 10:00～17:00 土 10:00～13:00
日・祝日 休診

MRI検査・リハビリ室を完備し、関東労災病院スポーツ整形外科とJリーグでの10年間の豊富な臨床経験と現場経験を生かし適切な診断と指導を致します。スポーツ外傷の手術を年間300例行っております。お気軽にご相談ください。

連携病院のご紹介

医療法人 井口野間病院



登録医名 高山成吉

住 所 〒815-0074 福岡市南区寺塚1丁目3番47号

お問い合わせ先 地域医療連携室

TEL 092-551-5301 FAX 092-553-8587

医療法人 井口野間病院 理事長 高山成吉

九州中央病院の皆様には、常日頃から密な連携をとらせて頂いており、また、この度九州中央病院連携病院のひとつに当院を加えて頂き、心から感謝申し上げます。この場をお借りして、当院の紹介をさせていただきます。

井口野間病院は昭和31年に開設、現在病床数は216床で、精神科・心療内科を標榜しております。当院の場所は西鉄高宮駅よりバスで約10分、また皿山、長住、長丘方面からの幹線道路の集合点にあり、交通は至極便利です。

当院は地域の皆様方のお力添えにより、開設60年を迎える事ができました。その間、当院における精神医療は大きく変化してきました。例えば従来、主であった統合失調症でお困りの患者様のご相談は減少し、認知症や気分障害といった病気でお困りの患者様やご家族様からのご相談の増加や、患者様の高齢化により身体合併症を併発される方の増加など、もはや一病院だけでは対応困難な事例が増えてきております。そのため当院は医療・福祉・保健等各分野との連携を密にとりながら、患者様の社会復帰を目指し、優しさや心のふれあいを大切にして、日々の療養に努めております。



この度、九州中央病院の皆様と連携を図る事で、精神的な症状でお困りの方に、十分にご満足頂けるような医療を提供していけるものと考えております。

今後は地域の皆様がお困りになっておられる事に対して、出来る限り協力し、少しでも地域に貢献できるような病院にしていきたい、と職員一同努力して参る所存です。

今後ともよろしくお願い致します。

腎センター・健康管理センター棟の新築工事について



当院では、昨年3月に全個室の新しい入院棟をオープンし、現在は移転後の旧病棟を解体する工事を行っております。

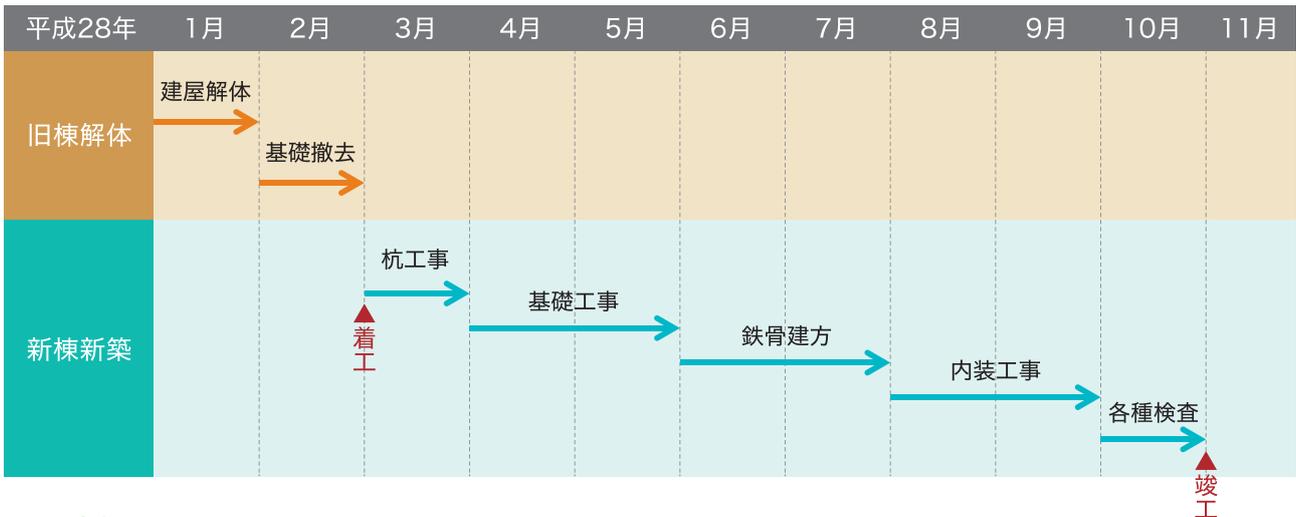
解体跡地には、新棟を建築する予定です。

新棟には1階に人間ドックや健康診断を専門に行う『健康管理センター』、2階に腎疾患の総合的な治療を行う『腎センター』と、特色のある2つのセンターを設置します。

工事の進捗状況等につきましては、ウェブサイトや広報誌にて随時お知らせいたします。

患者さんをはじめ皆さまに大変ご迷惑をおかけすることになりますが、ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

■工事工程表



■工事概要

工事名称	公立学校共済組合九州中央病院腎センター・健康管理センター棟新築工事他
予定工期	平成27年7月2日～平成28年10月31日
建築概要	規模構造：腎センター・健康管理センター棟 鉄骨造 地上3階 延床面積：約3,930㎡
安全対策	工事車両出入口に警備員を配置し、歩行者及び車両の安全を確保します。 騒音規制法を遵守し、騒音・振動等を最小限にとどめるように努めます。 作業時間は月曜日から土曜日の午前8時～午後6時を基本とします。
問合せ先	庶務課保全係 092-541-4936 内2371 (大賀・高良)

— マスクの効用と使い方 —

風邪やインフルエンザ、花粉症の対策に欠かせないマスク。
秋も深まる頃から、店頭には子供用や女性用、フィルターつきの物等様々なマスクが並びます。マスクの効用は何か、どんなマスクを選ぶと良いのか、正しいマスクのつけ方など、一緒に考えてみたいと思います。



マスクの選び方

- ・自分の顔に合うもの
 - ・フィルターの性能が良いもの（～を○%カット）
 - ・機能的で用途に合わせて使えるもの（就寝時、自宅用、仕事用など・・・）
 - ・清潔で使い捨てできるもの（1枚/日取り替える）
- 不織布が適切。**



マスクの効用

- ①感染予防：マスクをつけていない時、無意識に手で鼻や口に触れてしまい、感染の原因になる。マスクをすると、このような接触感染を防ぐ。他人の咳、くしゃみをした時の”しぶき”から守る。
- ②スチーム：風邪やインフルエンザウイルスは、効果気温が高く、湿度が高い環境では繁殖できない。マスクを通した空気は湿気がある。のどの粘膜を潤し、病原体の繁殖を防ぐ。
- ③肌の保護：汚れた空気、細菌、冷たい風、乾いた空気等の刺激から守る。



正しいマスクのつけ方とポイント

- ①まず手洗いをする。
顔にあたる面はなるべく手で触れない。
- ②マスクの上の部分の鼻の高さや形に合わせ折り、片方ずつ耳にかけ、ヒダを顎の下まで広げる。
- ③鼻横、顎、頬に隙間を作らないようにつける。
- ④マスクをつけたら、感染予防の為にマスクの本体には触れない。
- ⑤必ず紐を持ってはすず。



マスクの限界

ウイルスはマスクを通過する。ガードできるのは、咳やくしゃみで吐き出されたウイルスを含む”しぶき”だけ。（PM2.5は特殊なマスクが必要）



酒粕の温め効果でポカポカ

大根の酒粕グラタン (2人分)

材料

- | | | | |
|-------|-------|---------|------|
| ・大根 | 300g | ・白味噌 | 大さじ1 |
| ・大根の葉 | 適量 | ・小麦粉 | 大さじ1 |
| ・油 | 大さじ1 | ・塩・胡椒 | 適量 |
| ・豆乳 | 200ml | ・溶けるチーズ | 40g |
| ・酒粕 | 50g | | |



- ① 大根は皮つきのまま長さ5cmの棒状に切り、大根の葉は小口切りにする。
- ② フライパンに油を熱し、大根を入れじっくり炒め、大根の葉も入れる。
- ③ 鍋へ豆乳、酒粕、味噌を入れ温め溶かし、小麦粉を入れ、とろみがついたら、塩・胡椒で味を整える。
- ④ ②と③を合わせ、耐熱皿に入れ、溶けるチーズをのせて、オーブントースターで約10分、焦げ目がつくまで焼く。

大根の効能

- ・ビタミンCは、葉の部分、皮の方に多く含まれています。
- ・大根の辛味成分（イソチオシアネート）には解毒作用があります。
→活性酸素抑制・発がん物質の解毒を促します。
- ・豊富に含まれる酵素が消化を助ける為、食べ過ぎが気になる冬にピッタリです。
→体脂肪を増えにくくします。

栄養管理科 主任調理師 山本友香

部員募集

野球部

当院の野球部は部員14名（12月現在）で、主な活動は創設48年目を迎える歴史ある「福岡市5病院野球リーグ」に設立時より加入し、年間10試合の公式戦を戦っています。

しかし、昨年度より6病院リーグとなり試合数が増えたことに加えて、進学、転勤やベビーラッシュ等が重なったことにより、メンバーが不足し、9名揃わない危機的状況です。そのため、部長53歳、監督55歳、副監督51歳が現役で頑張っています。

けれども「安心して下さい。ちゃんと野球していますよ。」楽しく勝てる野球を目標に、後半の5試合は3勝2敗と勝ち越し、負けても1～2点差の接戦です。

ユニフォームと帽子は部より支給し、バッドやグローブは共有のものがあります。ベルト、ストッキングとシューズがあれば参加できますので、若くて元気のある職員の方はお気軽にお声がけください。経験の有無は問いません。来たれ！野球部へ！



▲10月最終戦を白星で飾る



▲福岡保養院戦



テニス部

皆様こんにちは。テニス部の紹介をさせていただきます。

現在の活動は、年二回の部内対抗戦と不定期ではありますが練習を行っております。

テニス部の特色として、退職されたOBの先生方等交流が続いており家族的な雰囲気です。

昨秋のテニス大会を高取山公園（佐賀県神崎市）で行いました。

テニス好きな方はどなたでも参加できますので、お気軽に声をかけてください。

～南警察署からのお知らせ～

福岡県南警察署 092-542-0110(内線 263)

緊急告知

＝性犯罪被害急増中＝

あぶない夜道から自分の身を守るための防犯ポイント



あ かるい道を通って
2人以上で帰る



ぶ ザーを手に持ち
防犯対策



な がら歩きは
絶対にしない



い つでも
周囲を警戒する

- 夕方6時から深夜の間に
- 駅周辺での
- 道路上で背後から襲われる

被害が多発!!

持ち歩こう 暗い夜道の 警戒心
振り向いて! 振り向いて!

もう一度振り向いて!!

背後から人につけられたときは迷わず110番通報を!

緊急時 あわてず あせらず 110番

～1月10日は「110番の日」～

「110番」は、事件・事故の緊急専用ダイヤルです。
相談ごとなどの急を要しない通報は、「#9110」
(ダイヤル電話からは092-641-9110)へ電話して下さい。

相談・要望などを110番すると、
1分1秒を争う事件・事故への対応を
遅らせる原因になるんだよ!



県警シンボル・マスコット「ふっけい君」

- ★福岡県内の110番は、全て福岡県警察本部につながります。
- ★110番すると、警察官が必要なことを質問します。
その間に別の警察官が、警察署やパトカーに無線指令を行っていますので、
あわてず、あせらず質問に答えて下さい。

九州中央病院専門外来診療担当医表

平成28年1月1日現在
 ◎新患もしくは再来 ○再来

科	専門分野	氏名	月	火	水	木	金	科責任者
内科	総合内科	古賀恒久		◎	○			●
		原田裕士				◎		
	糖尿病内科	五島大祐	○			◎	○	●
		豊永雅恵		○	◎		○	
		野口裕貴	◎			○		
	消化器内科	檜沢一興	◎		○			●
		藤田恒平		◎		○		
		井原勇太郎	○			◎		
		松野雄一			◎		○	
		佐久間努					◎	
	循環器内科	鍵山俊太郎			◎		○	●
		前淵大輔	◎		○			
		河野 修				○		
		鬼木秀幸	○			◎		
		村上 昇		○			◎	
		大森 将		○(午後)		○(午後)		
	脳血管内科	竹迫仁則		○			◎	●
		牧原典子	○		◎			
		脇坂佳世	◎			○		
	肝臓内科	東 晃一		◎		○	●	
呼吸器内科	古藤 洋	○	○		◎		●	
	中島信隆			○		◎		
	米嶋康臣	◎				○(午前)		
	池松祐樹		◎					
腎臓内科	水政 透		◎				●	
	牧 建次			◎				
	西本仁美					◎		
PD外来				完全予約	完全予約			
心療内科	十川 博	完全予約	完全予約	完全予約	完全予約	完全予約	●	
	河田 浩	完全予約	完全予約	完全予約	完全予約	完全予約		
	十川 博	完全予約		完全予約			●	
禁煙外来:月・水 午後	十川 博	完全予約		完全予約			●	
精神科	精神科全般	非常勤	○ 14~17時				○ 9~13時	
外科	消化器外科	池田陽一	◎			○		●
		足立英輔		◎		○		●
		中村俊彦	○		○			
		北川 大		○			◎	
		根東順子	○			◎		
		金城 直			◎		○	
	呼吸器外科	齊藤元吉		◎			◎	●
血管外科	九州大学医師				◎			
乳腺外科	乳腺外科	寺本成一	◎	◎	手術日	11時まで	◎	●

科	専門分野	氏名	月	火	水	木	金	科責任者	
婦人科	婦人科	有働俊啓	◎	◎	◎	◎	◎	●	
	脊椎・一般	有菌 剛	◎		○		◎	●	
	脊椎・一般	井口明彦			○	○	◎		
	膝・外傷・一般	濱田貴広	◎	○		○			
	リウマチ・関節外科・外傷・一般	西田顕二郎	◎	○(午後)		◎			
	脊椎・関節外科・外傷・一般	今村隆大			◎		◎		
	関節外科・外反母趾・外傷・一般	中川 剛	◎	◎					
	関節外科・外傷・一般	清原壮登		◎			○		
	関節外科・外傷・一般	薄 陽祐			◎	○			
	リウマチ・一般	時任 毅			○(午後)		○(午後)		
皮膚科	皮膚科一般	菊池智子	◎	11時まで	◎	手術日	◎	●	
		見明 彰	◎	11時まで	◎	手術日	◎		
		前田彩未	◎	11時まで	◎	手術日	◎		
形成外科	形成外科一般	西平智和	◎	◎	10時まで	◎	手術日	●	
泌尿器科	泌尿器科一般	関 成人	◎	◎	◎	手術日	◎	●	
		宋 裕賢	◎	◎	◎	手術日	◎		
		牟田口淳		◎	◎	手術日	◎		
		池之上俊	◎		◎	手術日			
眼科	眼科一般	長谷川裕平	手術日	◎	◎	11時まで	◎	●	
		石川桂二郎	手術日	◎	◎	11時まで	◎		
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般	君付 隆	◎	手術日	◎	◎	11時まで	●	
		安倍大輔	◎	手術日	◎	◎	11時まで		
脳神経外科	脳神経外科一般	井上琢哉		◎	◎	◎		●	
		黒木 愛	◎	◎			手術/PM九大		
		道脇悠平	◎		◎	◎			
放射線科	放射線診断一般	花田清彦	◎	◎	◎	◎	◎	●	
		中山智博	◎	◎	◎	◎	◎		
		亀井俊佑	◎	◎	◎	◎	◎		
放射線治療	放射線治療一般	花田/九大	予約	予約	予約	予約	予約	●	
		前田愛子	◎		予約		◎		
麻酔科	ペインクリニック	谷口奈美	◎		予約		◎		
緩和ケア外来	緩和ケア全般	中村俊彦		予約			予約	●	
歯科 口腔外科	歯科口腔外科一般	堀之内康文	予約	予約			予約	予約	●
		新田秀一	予約	予約			予約	予約	
		吉住潤子	予約	予約			予約	予約	
		碓 竜也	予約	予約			予約	予約	

	月	火	水	木	金	
胃透視	藤田 佐久間	松野		井原	檜沢 佐久間	放射線科
内視鏡	① 松野	檜沢 佐久間	藤田 佐久間	松野	井原	
	② 藤田 佐久間	井原	九大	檜沢 佐久間	藤田	

- 一般新患・再来の受付時間 8:30~11:00
(救急患者さんは受付時間外可)
- 紹介状ご持参の方(下記以外) 8:30~12:00
(救急患者さんは受付時間外可)
- ペインクリニック:月曜日・金曜日 8:30~11:00
- 皮膚科:火曜日 8:30~11:00
- 形成外科:水曜日 8:30~10:00
- 眼科:木曜日 8:30~11:00
- 乳腺外科:木曜日 8:30~11:00
- 耳鼻咽喉科:金曜日 8:30~11:00
- 時間外の受付(救急の患者さんに限る)
時間外・夜間・土曜・日曜・祝祭日ならびに年末年始(12/29~1/3)は、救急外来で対応いたします。
- 電話での再診予約および予約の変更
 <<予約専用ダイヤル>> 平日 13:00~15:00
 092-541-6369 ※ 歯科口腔外科除く
 <<歯科口腔外科直通>>
 0120-541-998

地域医療連携室のご案内(医療機関・クリニックからのお問い合わせ)

お問い合わせ先 **TEL 0120-541-995(直) FAX 0120-541-990(直)**

※直通回線が繋がりにくい場合は、病院代表番号へお願いいたします。
 <病院代表 TEL 092-541-4936 FAX 092-541-4540>

ご利用時間 **月曜日~金曜日(平日) 8:30~17:00**

外来受診・入院・緊急入院受付

- 平日 0120-541-995(直)又は 092-541-4936(代)
- 土・日・祝祭日の緊急受診と緊急入院 092-541-4936(代)

歯科口腔外科の受付

- 平日 0120-541-998(歯科口腔外科受付専用)

検査依頼の受付 CT・MRI・RI・胃内視鏡

- 平日(8:30~17:00) 0120-541-996(検査受付専用)
- 土曜日(9:00~14:00)

心療内科の受付(要予約)

- 平日 092-541-4936(代) ※心療内科とお伝え下さい
新患:月・水・金(午前)

◆ 上記時間外・土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始は、時間外受付にて対応いたします。 ※検査依頼の受付は土曜日(9:00~14:00)も行っています。
 ◆ 地域医療連携室直通のFAXにつきましては、終日受信可能ですが、上記時間外に受信したFAXへのお返事は翌日以降となりますので、予めご了承下さい。

お知らせ

新年を迎え新しい1年が始まりました。今年もより親しみやすい広報誌作りをスタッフ一同心がけていきたいと思っております。

これからますます寒くなりますが、風邪などひかれないうようにお気をつけ下さい。

広報委員会



九州中央病院広報誌「きなざっせ」第68号

編集:広報委員会 発行:九州中央病院

URL: <http://kyushu-ctr-hsp.com>